

中期経営計画

（平成30年3月期～平成32年3月期）

平成29年4月28日

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

目次

1.. 平成29年3月期の総括

2.. 平成30年3月期～平成32年3月期 中期経営計画

- (1) 中期経営方針
- (2) 中期経営目標
- (3) 平成30年3月期の売上高計画
- (4) 中期事業計画
 - ① 再生医療製品事業
 - ② 再生医療受託事業
 - ③ 研究開発支援事業
- (5) 中期開発計画

平成29年3月期の総括

【売上高】

(単位：百万円)	H28/3期 実績	H29/3期 計画	H29/3期 実績
ジェイス	531	801	743
ジャック	267	598	323
受託開発	538	597	676
特許譲渡	-	-	300
再生医療 製品事業	1,337	1,998	2,043
研究開発 支援事業	93	100	91
売上高合計	1,430	2,098	2,135

【特記事項】

自家培養表皮ジェイスの売上高は、743百万円（対前期比+39.7%、対計画比 7.2%）。対前期増加要因は、熱傷における保険償還価格の変更と移植枚数の増加、母斑の適応拡大。

自家培養軟骨ジャックの売上高は、323百万円（対前期比+20.8%、対計画比 45.8%）。対前期増加要因は、移植実績が複数例（2症例以上）となった医療機関が増加

受託開発の売上高は、676百万円（対前期比+25.6%、対計画比+13.3%）。主な受注先は、富士フィルム・ニデック・大阪大学。対前期増加要因は、富士フィルムの開発受託とコンサルティング収入等。

中国におけるジャックの特許を300百万円で富士フィルムに譲渡。

研究開発支援事業（ラボサイト）の売上高は、91百万円（対前期比1.4%、対計画比 8.1%）。H18/3期に発売して以来初の前期比減。

営業利益は、312百万円（前期比+1,034百万円）となり黒字化を達成。特許譲渡を除いても、27百万円の営業利益を確保。

【業績】

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成28年3月期（実績）	1,430	722	677	681
平成29年3月期（計画）	2,098	11	10	5
平成29年3月期（修正、H29.3.22）	2,100	280	277	243
平成29年3月期（実績）	2,135	312	309	276

目次

1 .. 平成29年3月期の総括

2 .. 平成30年3月期～平成32年3月期 中期経営計画

- (1) 中期経営方針
- (2) 中期経営目標
- (3) 平成30年3月期の売上高計画
- (4) 中期事業計画
 - ① 再生医療製品事業
 - ② 再生医療受託事業
 - ③ 研究開発支援事業
- (5) 中期開発計画

(1) 中期経営方針

基本方針：成長軌道を維持し、経費管理の徹底で、収益力強化。

(1) 既存事業の持続的成長

自家培養表皮ジェイスは、重症熱傷の標準的な治療として、売上の安定化を図ります。また、医療機関と連携して、母斑の治療法としての認知を高め、受注に繋がめます。自家培養軟骨ジャックは、富士フィルムのSYNAPSE VINCENT（3次元画像解析システム）との連携や、移植手技の簡易化・低侵襲化により成長を加速させます。ラボサイトは、発売以来初めての値上げにより収益改善を図るとともに、OECDテストガイドライン収載で、再び成長軌道に乗せます。

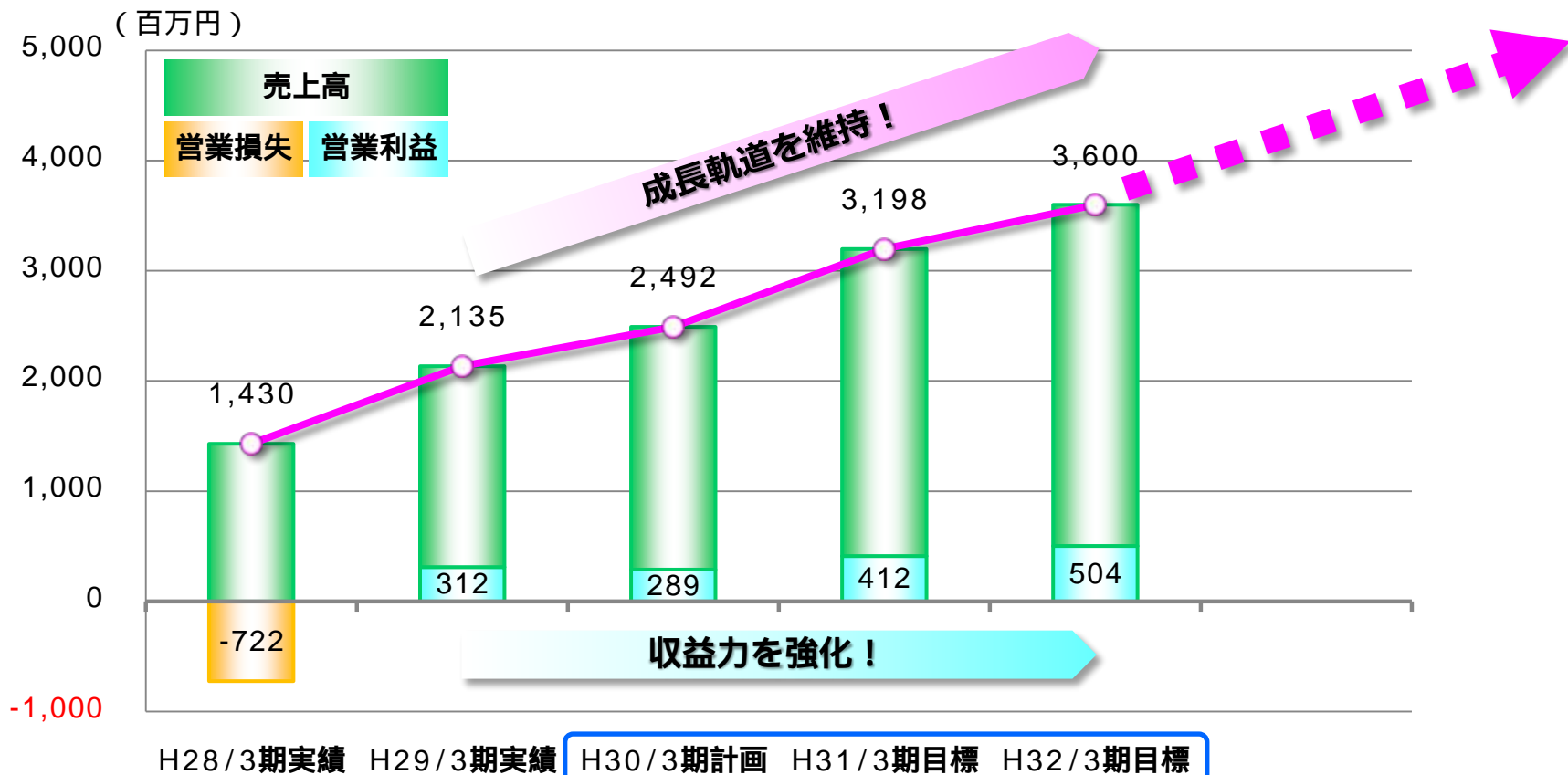
(2) 新規事業（受託事業）の育成

CDMO・CROビジネスを受託事業として、当社の中核事業に育成します。富士フィルムと連携して、グループ外の新規受託先を開拓します。眼科領域では、受託開発品の製造販売承認を取得し、受託製造を開始します。再生医療安全性確保法下での特定細胞加工物の製造受託も展開します。

(3) 経営基盤の強化

経営企画本部の設置により、経費管理の徹底（投入と抑制のバランス）を追求します。生産統括本部の設置により、高品質、高効率・低コストの生産を追求します。機能分担、商品開発、海外展開等、富士フィルムグループとのシナジーを追求します。

(2) 中期経営目標



(単位：百万円)	売上高	対前期成長率	営業利益	営業利益率	経常利益	当期純利益
平成29年3月期 (実績)	2,135	49.2%	312	14.6%	309	276
平成30年3月期 (計画)	2,492	16.7%	289	11.5%	288	266
平成31年3月期 (目標)	3,198	28.3%	412	12.8%	415	377
平成32年3月期 (目標)	3,600	12.5%	504	14.0%	506	456

(3) 平成30年3月期の売上高計画

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (%表示は千円単位で計算)	平成29年3月期 実績	平成30年3月期 計画	対前期比	
			増減額	増減率
ジェイス	743	789	46	6.1%
ジャック	323	561	238	73.3%
再生医療製品事業	1,066	1,350	284	26.5%
受託開発	676	1,025	349	51.5%
特許譲渡	300	-	300	100%
再生医療受託事業	976	1,025	49	4.9%
ラボサイト	91	116	25	26.3%
研究開発支援事業	91	116	25	26.3%
売上高	2,135	2,492	357	16.7%

- ✓ 再生医療製品事業は、ジェイスの母斑増とジャックの受注増により、対前期比284百万円の増加を計画。
- ✓ 再生医療受託事業は、新規受託先の獲得により、特許譲渡を除き、対前期比349百万円の増加を計画。
- ✓ 研究開発支援事業は、値上げ効果と大口顧客の使用量回復で、対前期比25百万円の増加を計画。

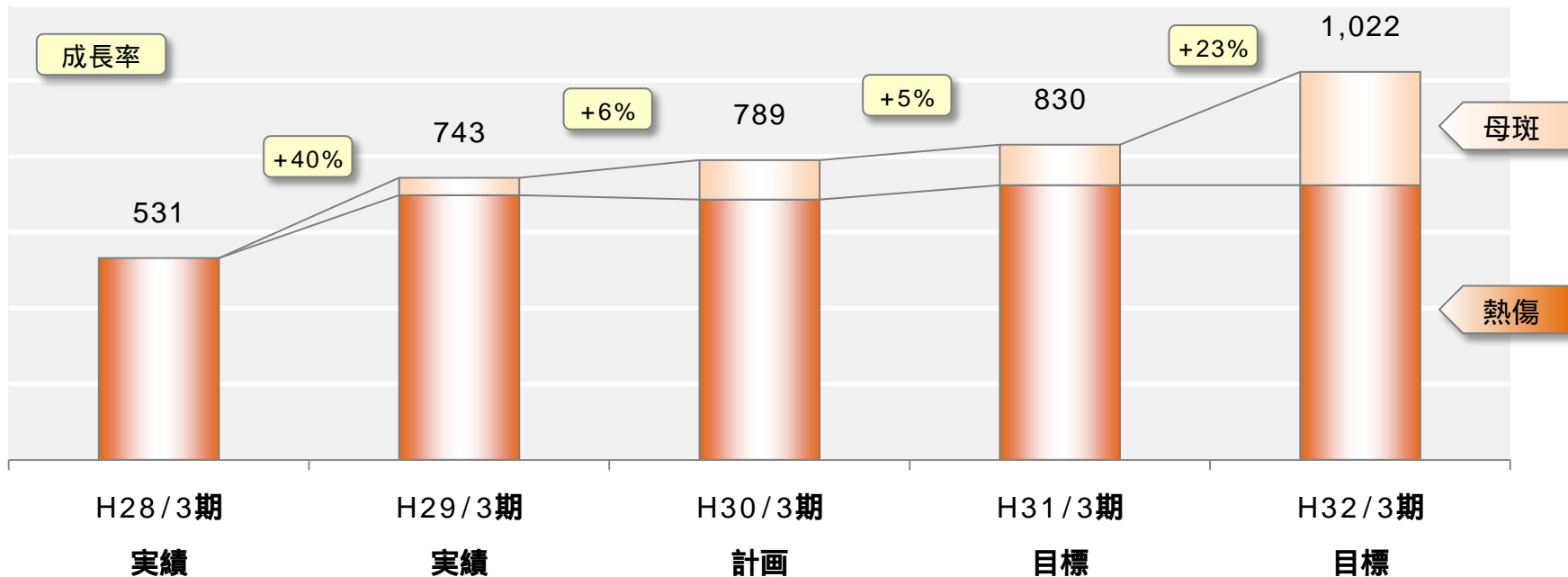
平成30年3月期より、再生医療製品事業に含まれていた、受託開発と特許譲渡を分離・独立して再生医療受託事業とし、再生医療製品事業・再生医療受託事業・研究開発支援事業を報告セグメントとします。

(4) 中期事業計画

① 再生医療製品事業 ～ 自家培養表皮ジェイス ～


- ✓ 熱傷・母斑とも現在の保険償還価格を維持、また熱傷の中止率は約35%を前提。
- ✓ 熱傷の算定限度40枚の緩和をH31/3期に計画。
- ✓ 母斑の日本への医療ツーリズムをH32/3期に計画。
- ✓ 母斑の拡大によりジェイスの年平均成長率(H29/3期～H32/3期)は、+11%を計画。

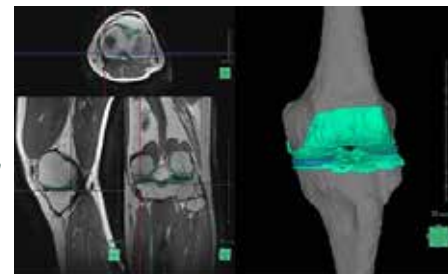
ジェイス売上目標 (単位：百万円)



(4) 中期事業計画

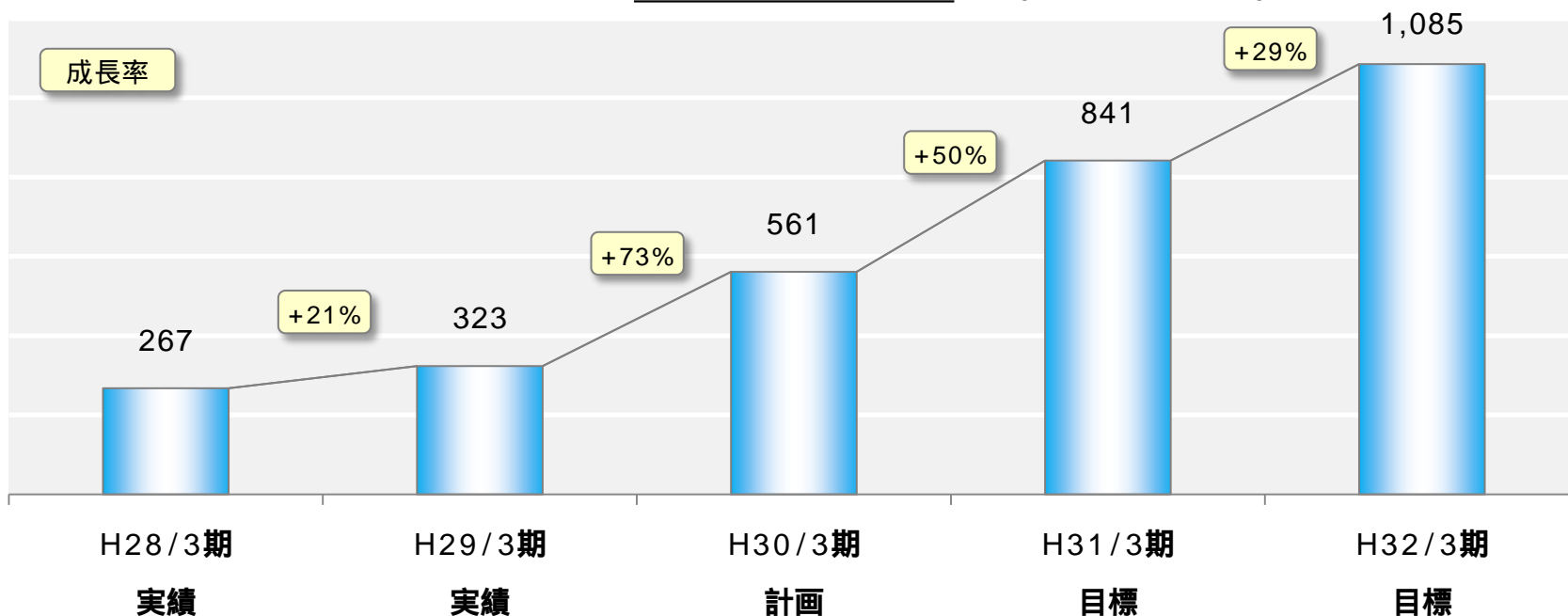
① 再生医療製品事業 ～ 自家培養軟骨ジャック ～

- ✓ 現在の保険償還価格を維持する前提。
- ✓ 富士フィルムのSYNAPSE VINCENTとの連携を計画。 
- ✓ ジャック移植手技の簡便化・低侵襲化をH31/3期に計画。
- ✓ ジャックの年平均成長率(H29/3期～H32/3期)は、+50%を計画。



ボリュームアナライザー
SYNAPSE VINCENT
出典：ITEM2017 富士フィルム
ブースインフォメーション

ジャック売上目標 (単位：百万円)

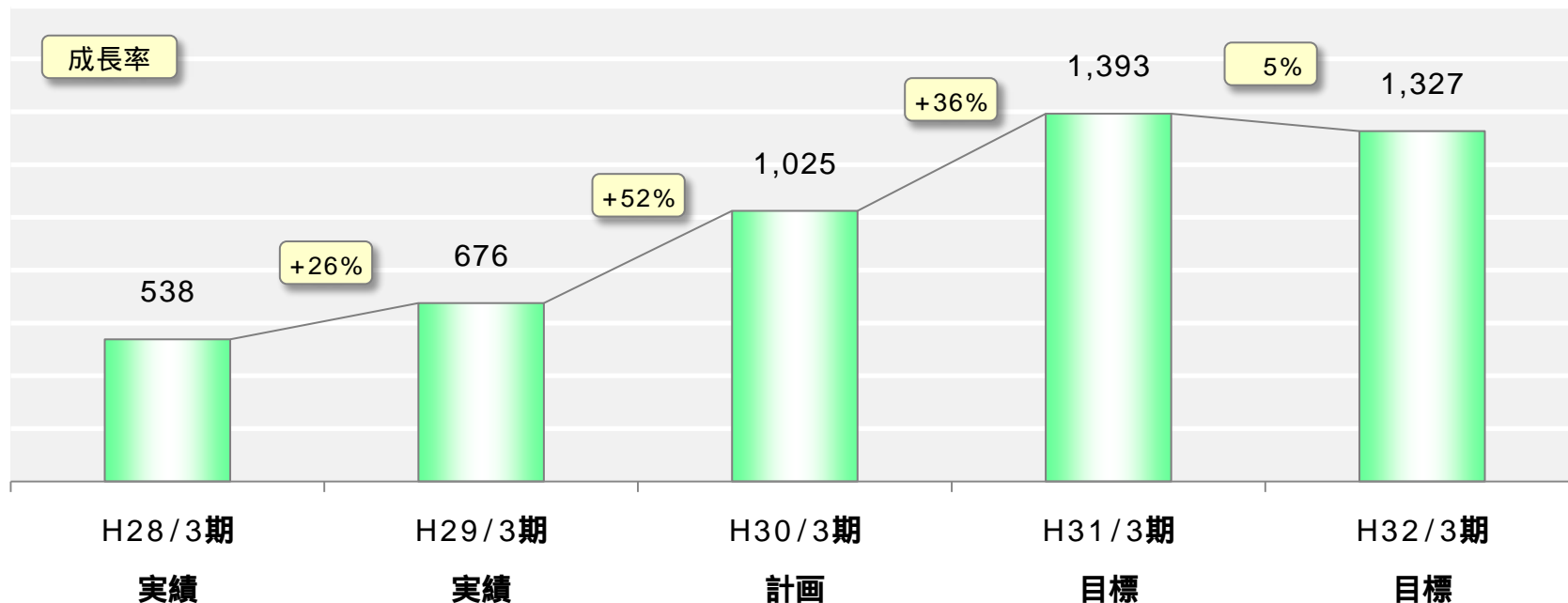


(4) 中期事業計画

② 再生医療受託事業

- ✓ 富士フィルムと連携して、新規受託先の開拓を計画。
- ✓ 自家培養角膜上皮は、H32/3期に製品受託製造を計画。
- ✓ メラノサイト含有ジェイスの受託製造を再生医療安全性確保法下での展開を計画。
- ✓ 受託事業の年平均成長率(H29/3期～H32/3期)は、+25%を計画。

受託事業売上目標 (単位：百万円)

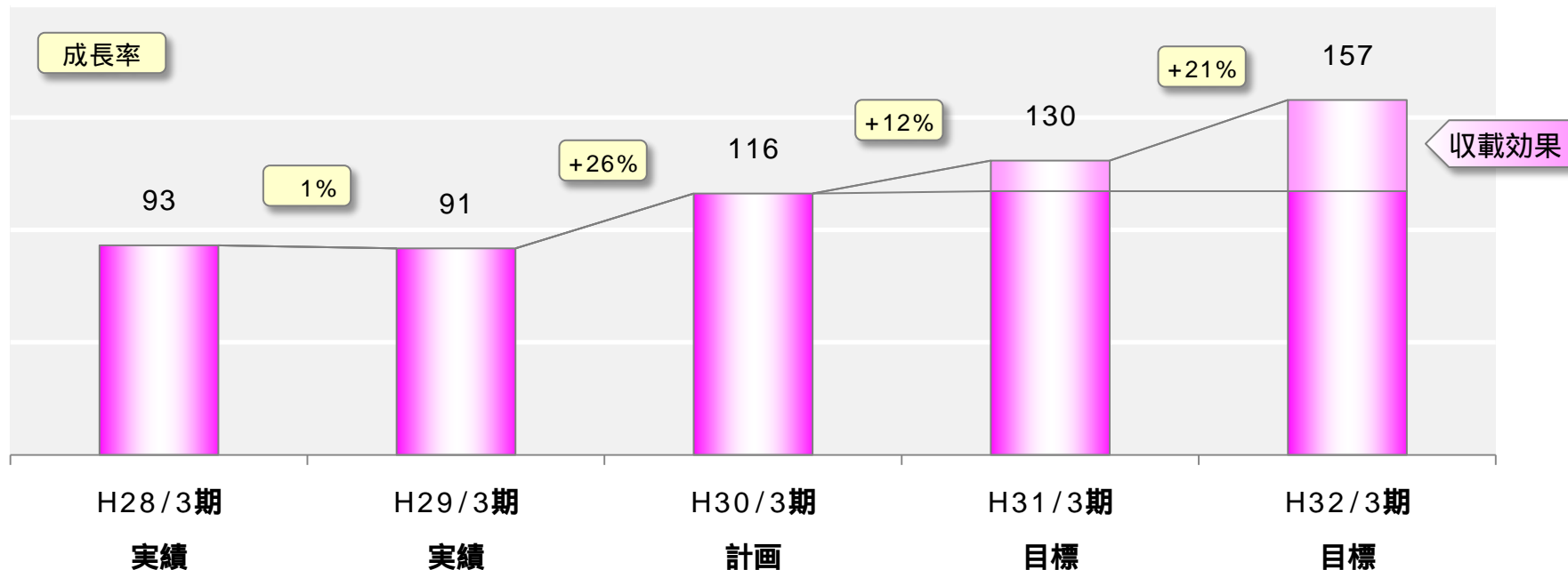


(4) 中期事業計画

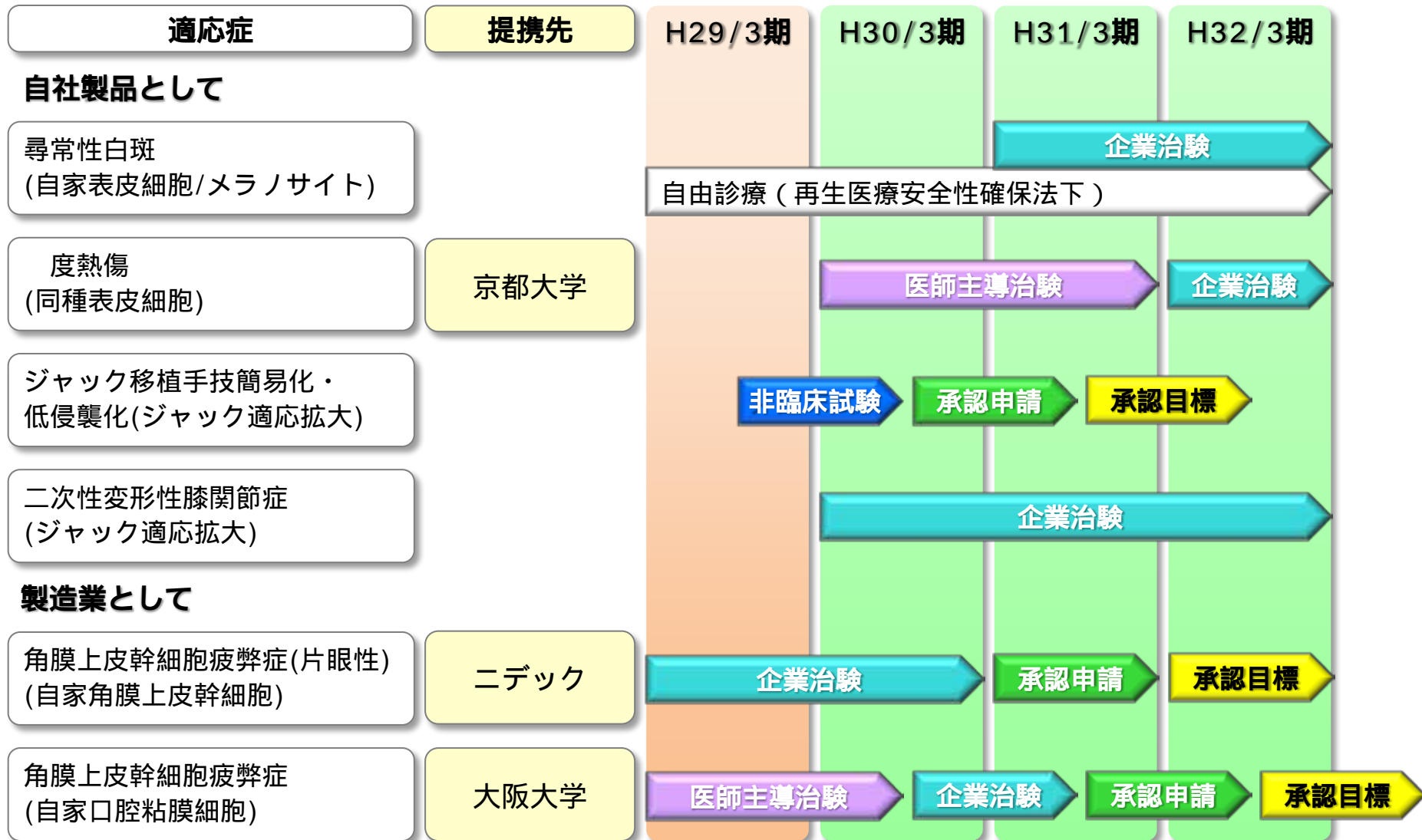
③ 研究開発支援事業 ～ ラボサイト ～

- ✓ H29/4月から、全製品一律10千円値上げ(例：エピモデル24 希望小売価格64,000円)。
- ✓ H31/3期に、角膜モデルを眼刺激性試験OECDテストガイドライン収載を計画。
- ✓ H32/3期に、エピモデルを皮膚腐食性試験OECDテストガイドライン収載を計画。
- ✓ ラボサイトの年平均成長率(H29/3期～H32/3期)は、+20%を計画。

ラボサイト売上目標 (単位：百万円)



(5) 中期開発計画



本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含みますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

経営管理本部

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp